

玉津小学校のストップいじめアクションプラン ～いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けて～

目ざす学校・目ざす子どもの姿

いじめをしない・させない・見逃さない学校

子どものアクション

- いじめのない明るく楽しい学校・学級づくりを進める。
 - ・毎日スピーチタイムを実施し、友だちの思いや考えを知る。
 - ・帰りの会でのふりかえり。
- 児童会活動等によるいじめ根絶運動を推進する。
 - ・あいさつ運動
 - ・なかよし郵便でお互いの良い所を見つけたり「ありがとう」を伝えたりする。

家庭や地域と連携したアクション

- プランについてホームページに発信し、保護者会で説明する。
- 安全パトロールの方との意見交換会で地域での子ども達の様子について交流する。
- 保護者や地域の方を対象とするアンケート調査を実施する。
- 学校評議員会でいじめ問題について意見を交流する。
- 家庭や地域にチェックリストを配布し、協力を呼びかける。
- 学級担任と保護者の方との連絡を日々こまめに取り。
- ハートフルデーの設定で気になることを話せる場を作る。

教職員のアクション

- 「いじめを絶対に許さない」学校づくりに向けて、共通理解・共通実践を進める。
 - ・「いじめを絶対に許さない、いじめられている人を守り抜く」ことを宣言する。
 - ・いじめの問題に対する意識や実践力を高めるための研修会を実施する。
- 子どもからのSOSを見逃さない。⇒ 早期発見
 - ・休み時間や昼食時、放課後に子どもと積極的にふれあい、信頼関係の構築に努める。
 - ・日常的に日記、振り返りカードなどで子どもの思いを知る。
 - ・「なかよし相談週間」を実施し子どもが気軽に先生と話ができる雰囲気を作る。
 - ・いじめにつながる言動に敏感になるように、常に教職員の人権感覚を磨く。
- いじめがあることを前提に、主体的にいじめを掘り起こす。
 - ・いじめに特化したアンケートを毎学期実施する。
 - ・「いじめの疑いのある事案」に組織的に取り組む。

現状（課題）

- ◇大きないじめの事象は見られないが、気づかない間に強い立場の人にながされて意地悪をしてしまうことがある。
- ◇地域での子ども同士の様子を把握しにくい。